

令和 6 年度 事業報告書

I 会 議

1 総 会

- (1) 第 69 回通常総会 令和 6 年 6 月 21 日 仙台市・JA ビル宮城 11 階 大会議室
議 案
第 1 号議案 令和 5 年度事業報告、決算報告並びに公益目的支出計画実施報告
について
第 2 号議案 令和 6 年度事業計画並びに収支予算の報告について
第 3 号議案 令和 6 年度会費について
第 4 号議案 令和 6 年度役員報酬について
第 5 号議案 役員の改選について
- (2) 臨時総会 令和 6 年 8 月 21 日 書面決議
第 1 号議案 理事の補選並びに監事の選任について

2 理 事 会

- (1) 第 1 回理事会 令和 6 年 5 月 27 日 仙台市・JA ビル宮城 6 階 特別会議室
議 案
第 1 号議案 令和 5 年度事業報告、決算報告並びに公益目的支出計画実施報告
について
第 2 号議案 令和 6 年度会費について
第 3 号議案 令和 6 年度役員報酬について
第 4 号議案 役員の改選について
第 5 号議案 令和 6 年度通常総会の開催期日並びに提出議案について
報 告 事 項
1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）の交付状況について
- (2) 第 2 回理事会 令和 6 年 6 月 21 日 仙台市・JA ビル宮城 11 階 第 1 会議室
議 案
第 1 号議案 会長・副会長の互選について
- (3) 第 3 回理事会 令和 6 年 8 月 5 日 書面決議
議 案
第 1 号議案 理事の補選並びに監事の選任について
第 2 号議案 臨時総会の開催について
- (4) 第 4 回理事会 令和 7 年 3 月 19 日 仙台市・JA ビル宮城 6 階 特別会議室
報告事項
1 代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告について
議 案
第 1 号議案 令和 6 年度事業計画並びに収支予算の変更について
第 2 号議案 令和 7 年度事業計画並びに収支予算（案）について
第 3 号議案 令和 7 年度一時借入金最高限度額について

- 第4号議案 一般社団法人宮城県畜産協会 家畜畜産物衛生指導業務方法書の一部改正について
- 第5号議案 一般社団法人宮城県畜産協会 肉用子牛価格安定基金業務 規程の一部改正について
- 第6号議案 肉用子牛生産者補給金制度における第8業務対象年間の肉用子牛1頭当たりの生産者負担金単価について
- 第7号議案 肉用子牛生産者補給金制度における第8業務対象年間の事務委託先の承認について
- 第8号議案 肉用子牛生産者補給金制度における第8業務対象年間の事務手数料について
- 第9号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度の実施に係る積立金管理者の指定について
- 第10号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度における第3業務対象年間の事務委託先の承認について
- 第11号議案 肉用牛肥育経営安定交付金制度における第3業務対象年間の事務手数料について
- 第12号議案 規程の一部改正について
- (1) 給与規程
 - (2) 就業規則
 - (3) 会計処理規程

3 監事会

- (1) 監事会 令和6年5月20日 宮城県畜産協会 会議室
- 監査事項 令和5年度事業報告、令和5年度決算報告並びに公益目的支出計画実施報告に関する監査

Ⅱ 畜産経営支援対策事業

1 畜産経営技術高度化促進事業（宮城県：実績額 5,509,546 円）

畜産をめぐる情勢の変化に対応し、経営感覚に優れ生産性の高い畜産経営体の育成と指導者の養成を図り、経営体のレベルの向上と実態に応じた診断指導、調査等総合的な支援指導を実施し、畜産経営の安定と生産基盤の育成強化に努めた。

（1）畜産経営支援指導研究会の開催

畜産経営技術指導を効果的かつ効率的に実施するため、畜産の実情に対応した将来の畜産経営指導の展開方向、具体的な指導内容・方法及び関係機関の機能分担等について検討協議するため、県及び関係団体をもって構成する総合委員会を書面開催した。

区 分	開 催 年 月 日	委員数	内 容
総合委員会	令和6年6月28日	11名	①令和5年度実績について ②令和6年度畜産経営技術高度化促進事業について ③各関係機関からの畜産における近況報告

（2）畜産コンサルタント団の設置

県及び畜産関係団体、学識経験者等幅広い分野の専門家をもって構成する畜産コンサルタント団を設置し、畜産経営体からの診断及び巡回指導要請に対応した指導を実施した。

畜産コンサルタント団設置の状況

総括畜産コンサルタント	畜産コンサルタント	非常勤畜産コンサルタント
3名	9名	24名

（3）地域畜産経営体相談窓口指導

畜産経営体の支援指導を円滑に推進するため、日常的な経営体の状況把握・指導、地域における指導の連絡調整等指導相談の窓口を設置し、畜産経営体等からの延71件の相談・要請に対応した支援指導を実施した。

区 分	設置場所	担当地域
常 設	宮城県畜産協会 本 所	県一円
	宮城県畜産協会 仙南事業所	仙台、大河原管内
	宮城県畜産協会 中央事業所	大崎、石巻、登米、栗原管内
臨 時	みやぎ総合家畜市場（市場開設時）	県一円

（4）畜産経営技術指導用機器の整備

畜産経営体の支援指導を効果的かつ効率的に実施するため、コンピューター等関連機器を整備した。

（5）畜産経営技術支援指導

畜産経営体の要請に基づき、その経営水準、実態等に対応した診断指導を実施し、経営改善のための効果的な支援指導を実施した。

畜産経営技術の支援指導実施状況（個別指導）

経営区分	改善指導	経営管理 技術指導	フォローアップ 指 導	計	備 考
酪 農	1 件	15 件	7 件	23 件	
肉用牛	4 件	6 件	5 件	15 件	
養 豚	0 件	2 件	6 件	8 件	
養 鶏	0 件	0 件	0 件	0 件	
計	5 件	23 件	18 件	46 件	

（６）情報提供体制事業

パソコン通信網を活用した総合的な畜産関係情報の提供を図るため、ネットワークの開設と各種情報のデータベースを構築し、畜産経営技術の高度化に対応した効率的な支援指導を実施した。

（７）畜産経営セミナー、交流会の開催

肉用牛経営と養豚経営における生産基盤の強化等を図るため、衛生飼養管理及び養豚経営の展望等をテーマにセミナーを開催した。

開催年月日	開催場所	参加人数	セミナー・交流会の具体的内容
令和 6 年 7 月 25 日	ハイブリット 開 催 大崎市	63 名 (内リモート 参加者 21 名)	- ベンチマーキングシステムについて 有限会社アークベテリナリーサービス 代表取締役 武田 浩輝 氏 - JASV ベンチマーキングの活用とその効果 有限会社みずの 水野 慎太郎 氏
令和 7 年 2 月 27 日	大崎市	105 名	- 黒毛和種繁殖農場における管理について 宮城県農業共済組合 中央家畜診療センター 診療課 係長 佐藤 めぐみ 氏 - 牛伝染性リンパ腫の清浄化対策について 宮城県農業共済組合 第二事業部 次長 松田 敬一 氏
令和 7 年 2 月 28 日	ハイブリット 開 催 大崎市	62 名 (内リモート 参加者 23 名)	- 県内における豚熱対策の状況について 宮城県農政部 家畜防疫対策室衛生安全班 技術主任主査 佐沢 公子 氏 - 豚ふん堆肥化研究・技術の現状 新潟食料農業大学 学長 中井 裕 氏 - 堆肥・液肥を活用した地域密着循環型農業 有限会社石上ファーム 代表取締役社長 石川 貴泰 氏
令和 7 年 3 月 5 日	美里町	24 名	県内モーモー母ちゃんの集い - 基調講演「モーモー母ちゃん、生後すぐの処置編」 宮城県農業共済組合中央家畜診療センター 診療課診療係長 佐藤 めぐみ 氏 - 一分間スピーチ(出席者全員) - 全国モーモー母ちゃんの集い案内

(8) 研修事業への参加

畜産経営指導事業並びに組織運営に必要な専門的知識及び技術の習得を図るため、中央畜産会等が主催する研修等に職員を派遣し、事業の円滑な推進に努めた。

開催年月日	開催場所	参加人員	研修内容
令和6年6月14日	東京都	1名	畜産経営分析システム研修会
令和6年7月10日～12日	福島県	1名	中央畜産技術研修会(新任基礎)
令和6年8月1日～2日	東京都	1名	経営指導技術向上事業に係る 総括畜産コンサルタント研修会
令和6年11月12日～15日	大分県	1名	経営指導技術向上事業に係る 経営指導従事者研修(実践編)

2 畜産経営技術指導事業 (地方競馬全国協会：実績額 28,103,000円)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、研修会等の開催の制限はあったが、WEB利用等により可能な限り畜産農家の育成と経営の安定的発展を図るため、県並びに関係団体と連携の下に基幹職員を配置し、畜産経営指導並びに家畜改良指導及び畜産物消費拡大、馬事振興等の多岐にわたる業務を実施した。

(1) 畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化を図った。

(2) 地域畜産に対する理解増進等畜産関連公益活動体制の強化を図った。

(3) 馬事・畜産普及啓発の推進体制の強化を図った。

3 畜産特別資金等推進指導事業 (中央畜産会：実績額 3,918,612円)

畜産特別資金利子補給事業の円滑な実施を図るため、宮城県大家畜・養豚経営改善推進協議会を中心として、畜産特別資金借受者5戸(酪農2戸、肉用牛2戸、養豚1戸)の農家に対し巡回指導を実施した。

4 畜産機械施設貸付調査指導事業 (畜産近代化リース協会：実績額 259,596円)

貸付事業の利用拡大を図るため、畜産経営者等に対し説明会を開催するとともに、機器の適正な管理状況を把握するため現地調査(1戸15機)を実施した。

5 地域畜産支援指導体制強化事業 (中央畜産会：実績額 2,553,389円)

(1) 畜産関係団体調整機能強化事業

各種研修会や全国会議等に参加し最新の情報等を収集するとともに、会議や相談窓口での関係者への情報提供に努めた。

また、本県女性ネットワークの構築を進め、今後益々の会員増加を図るべく、生産者に役立つ研修会(生産技術、経営管理、資金調達など)や生産者同士の意見交換、情報交換等を行いネットワークの充実を図った。

(2) 畜産経営相談窓口整備

生産者及び関係機関からの各種相談に応じるため依頼先等へ出向き、畜産の振興を図ると共に、各種研修会等へ参加し役職員の知識の向上に努めた。

- 6 公庫資金活用推進事業（農業経営サポート調査）（中央畜産会：実績額 66,000 円）
日本政策金融公庫資金の借入者 3 戸（肉用牛肥育）に対して、経営課題抽出及び借入後の計画作成支援等を実施し、借入金の円滑な償還と経営の安定化を支援した。
- 7 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）
（農畜産業振興機構：実績額 12,126,351 円）
肉用牛生産基盤の強化を図り、肉用牛の生産振興、生産性の向上を図る事業を支援するため、肉用牛生産集団等が行う事業に対し補助した。

区 分	事 業 内 容	農協・集団名
1 遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保	地域の和牛改良に必要な優良繁殖雌牛の導入に対して奨励金交付 (39 戸、54 頭)	みやぎ仙南、名取岩沼、古川、新みやぎ、みやぎ登米、みやぎ農業振興公社 (計 6 集団)
2 肉用牛ヘルパー推進	肉用牛ヘルパー活動の推進 (傷害保険料、ヘルパー利用料金)	JA 新みやぎ肉用牛ヘルパー部会 みやぎ登米肉用牛ヘルパー部会 (計 2 集団)

- 8 優良繁殖雌牛更新加速化事業（全国肉用牛振興基金協会：実績額 4,002,820 円）
肉用牛の生産基盤の強化のため、畜産クラスター計画に基づき、高齢の繁殖雌牛から優良な若い繁殖雌牛に更新した生産者に対して補助金を交付するため、農協等を対象に事業説明及び事業参加要望書等の取りまとめ等を実施し、肉用牛の振興発展に資した。

農協・取組主体名	実績		
	戸数	頭数	金額
みやぎ仙南、仙台、古川、加美よつば、新みやぎ、みやぎ登米 いしのまき、宮城県域全肉協畜産クラスター協議会 (計 8 集団)	216 戸	471 頭	49,900,000 円

- 9 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査（中央畜産会：実績額 240,000 円）
畜産クラスターにおける中心的経営体の指標作成に資するため、優良畜産経営体 3 戸（酪農 1 戸、肉用牛繁殖 1 戸、肉用牛肥育 1 戸）の経営実態調査を実施した。
- 10 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）に係る事業推進業務
（中央畜産会：実績額 3,411,342 円）
畜産クラスター事業の機械導入事業の円滑な推進を図るため、畜産クラスター協議会等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを行った。

宮城県内における事業参加要望書等の取りまとめ状況(未完了要望回次分)

(令和7年3月末現在)

要望調査 回次	協議会数	項目	要望件数	承認件数	実績報告書 提出件数	実績報告書 未提出件数
令和5年	6 協議会	人 数	17 人	14 人	13 人	1 人
		機械数	228 機	224 機	223 機	1 機
		補助金	118,448 千円	96,466 千円	77,586 千円	18,880 千円
令和6年	6 協議会	人 数	18 人	10 人	8 人	2 人
		機械数	402 機	14 機	11 機	3 機
		補助金	144,804 千円	28,557 千円	24,217 千円	4,340 千円
計	—	人 数	延 35 人	延 24 人	延 21 人	延 3 人
		機械数	630 機	238 機	234 機	4 機
		補助金	263,252 千円	125,023 千円	101,803 千円	23,220 千円

11 生産技術情報提供事業（家畜生産性向上対策事業）

(中央畜産会：実績額 186,000 円)

酪農・肉用牛繁殖・肥育経営各1戸に対し、家畜の生産性向上に係るデータ等の収集、分析及び技術指導を実施し、生産性の向上を図った。

12 畜産経営体生産性向上対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）に係る事業推進業務

(中央畜産会：実績額 375,747 円)

畜産経営体生産性向上対策事業（通称：ICT事業）の機械導入の円滑な推進を図るため、畜産ICT応援会議を対象に事業説明会、事業参加要望書取りまとめ及び現地確認等を実施した。

機械導入状況（令和6年度）

ICT 応援会議	経営 体数	導入機械	機械価格 (税抜)	補助金額
みやぎの酪農協 畜産クラスター 協議会	1 戸	搾乳ユニット搬送レール（自動） 1 機	4,082,800 円	2,041,400 円
		ミルカー自動離脱装置 4 機		
		(計 5 機)		

13 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業に係る事業推進業務

(中央畜産会：実績額 701,946 円)

酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（通称：楽酪GO事業）の円滑な推進を図るため、楽酪応援会議を対象に事業説明、現地確認等を実施した。

Ⅲ 家畜衛生対策事業

1 特定疾病自衛防疫推進事業（協会独自事業：実績額 89,832,895 円）

家畜伝染病の発生予防及びまん延防止のため、地域ぐるみで予防接種を推進し、伝染病発生による損耗防止に努めた。

(頭)

予防接種の種類	地域別接種頭数						合計
	仙南	中央	大崎	栗原	登米	石巻	
(1)豚丹毒ワクチン（生）	1,402	0	0	1,577	3,500	0	6,479
(2)豚三種混合ワクチン（生）	134	1	110	10	55	20	330
(3)アカバネ病ワクチン（生）	1,953	1,243	6,761	2,080	4,451	879	17,367
(4)牛五種混合ワクチン（生）	1,075	818	4,403	2,458	3,951	879	13,584
(5)牛ヘモフィルスワクチン（不）	1,173	883	4,757	2,397	4,052	874	14,136

2 自衛防疫推進事業（協会独自事業：実績額 2,250,764 円）

自衛防疫事業を円滑に推進するため、自衛防疫推進会議等を開催し、家畜衛生に関する知識の普及や情報の収集・伝達に努めた。

(1) 家畜自衛防疫推進会議等開催状況

会 議 名	場 所	開催回数	出席人数	備 考
① 家畜自衛防疫推進会議	仙台市内	3 回	延べ 66 名	県、家畜保健衛生所職員等
② 家畜衛生専門委員会	〃	1 回	19 名	県、家畜保健衛生所長等

(2) 指定獣医師定例会開催状況

地域名	場所	開催回数	出席人数	内容
大崎	大崎市	1 回	12 名	① 特定疾病自衛防疫推進事業に係る令和 5 年度実績及び令和 6 年度進捗状況について ② 中央畜産会事業について ③ 最近の家畜衛生情報等
登米	登米市	1 回	13 名	
合 計		2 回	延べ 25 名	

(3) 家畜自衛防疫事業推進事務交付金交付実績

交付先	交付金額	備 考
市町村 (29)	362,900 円	アカバネ病等：注射負担金額×1%以内
農業協同組合 (9)	494,400 円	牛五種混合等：注射負担金額×1%以内
合 計	857,300 円	

(4) 予防接種事故見舞金交付件数

予防接種の種類	畜 種	交付件数
牛五種混合ワクチン (生)	肉用牛	1 件
牛ヘモフィルスワクチン(不)	肉用牛	1 件
合 計		2 件

3 家畜生産農場衛生対策事業 (農林水産省：実績額 9,928,943 円)

疾病の感染拡大防止を図るため、ヨーネ病においては患畜摘発農場の同居牛とう汰費を、牛伝染性リンパ腫においては、共同放牧場、対策実施農場の抗体検査及び高度感染牛のとう汰費を、牛ウイルス性下痢症においては持続感染牛のとう汰取組を支援した。

区 分		戸 数	頭 数
ヨーネ病	患畜摘発農場における同居牛対策 (とう汰)	1 戸	1 頭
牛伝染性リンパ腫	共同放牧場における対策 (抗体検査)	延べ 153 戸	573 頭
	対策実施農場における対策 (抗体検査)	1 戸	17 頭
	対策実施農場における対策 (とう汰)	1 戸	2 頭
牛ウイルス性下痢症	持続感染牛対策 (とう汰)	1 戸	1 頭

4 牛疾病検査円滑化推進対策事業 (農林水産省：実績額 7,220,168 円)

国内の牛海綿状脳症 (BSE) の浸潤状況を的確に把握するため、牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、死亡牛の所有者に対し、検査促進費、検体提供費、検査経費を補助し、死亡牛の BSE 検査の円滑な推進につとめた。

また、県、関係団体、死亡牛収集業者で構成する牛疾病検査円滑化推進対策協議会を開催し、死亡牛の円滑な収集運搬及び処理のための取組と良好な家畜衛生並びに環境の維持を図り、畜産の健全な発展に努めた。

(1) 死亡牛検査促進対策

区 分	補助対象頭数			単 価	金 額
	県南地域	県北地域	計		
検査促進費	19 頭	78 頭	97 頭	6,000 円	582,000 円
検体提供費	19 頭	78 頭	97 頭		582,000 円
合 計					1,164,000 円

(2) 死亡牛検査支援対策

区 分	補助対象頭数			単 価	金 額
	県南地域	県北地域	計		
BSE 検査費	19 頭	78 頭	97 頭	18,000 円	1,746,000 円

※ (1)・(2) 補助対象牛：BSE を疑う特定症状や歩行困難、起立不能等を呈する牛

5 畜産物衛生環境整備円滑化事業（協会事業、宮城県：実績額 12,864,515 円）

県内で発生する死亡家畜の処理を円滑かつ効率的に推進するため、一時保管する家畜死体冷却保管施設及び家畜死体冷凍運搬車の利用について、死亡牛輸送業者 3 社及び関係者と協議し、家畜疾病のまん延防止を図り、家畜飼養衛生環境の保全に努めるとともに、老朽化に伴う施設の修繕・改修等の工事を行った。

また、死亡牛の BSE 検査の採材場所として「宮城県死亡獣畜取扱施設」を利用し、県が実施する検査の円滑な推進を支援した。

(1) 家畜死体冷却保管施設利用頭数

区 分	牛	豚	馬	その他	計
頭数（頭）	4,113	7,396	4	74	11,587
重量（t）	1233.90	665.64	1.60	6.29	1907.43

(2) 死亡獣畜取扱施設の利用頭数

畜 種	取扱頭数	取扱対象牛	BSE 検査結果
牛	78 頭	BSE を疑う特定症状や歩行困難、起立不能等を呈する牛	全頭陰性

(3) 家畜死体冷凍運搬車利用頭数

畜 種	利用頭数	利用対象牛	BSE 検査結果
牛	19 頭	BSE を疑う特定症状や歩行困難、起立不能等を呈する牛	全頭陰性

(4) 施設の修繕・改修等

区 分	年 月	修繕・改修工事等
家畜死体冷却保管施設	令和 6 年 5 月	クランクケースヒータ漏電による交換
	令和 6 年 8 月	電動ドロッパー不具合箇所工事
	令和 6 年 9 月	給湯器交換
	令和 6 年 11 月	庫内温度センサー交換
	令和 6 年 11 月 ～令和 7 年 3 月	外装改修工事

6 家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会：実績額 5,579,867 円）

（1）地域自衛防疫推進事業

地域での伝染病発生時の対応等を支援するため、伝染性疾病の発生に備えた防疫演習や飼養衛生管理基準に基づく防疫対策への取り組みの啓発等の検討を行うとともに、生産者段階での防疫演習等の実施、生産現場における家畜防疫体制の強化を図ることにより、伝染性疾病の発生予防等防疫措置の徹底に努めた。

区 分	開催月日	開催場所	人数	備 考
防疫演習等 (計 12 回)	令和 6 年 7 月 21 日	大崎市岩出山	36 名	県職員（畜産課、家対室、家保、農業関係、土木、一般職員）、市町村、農協、畜産団体、建設業協会、警察、陸上自衛隊、生産者等 延べ 647 名
	令和 6 年 10 月 11 日	大河原町	67 名	
	令和 6 年 10 月 25 日	七ヶ宿町	59 名	
	令和 6 年 10 月 17 日	栗原市栗駒	49 名	
	令和 6 年 10 月 25 日	南三陸町歌津	64 名	
	令和 6 年 10 月 28 日	南三陸町	32 名	
	令和 6 年 11 月 8 日	仙台市青葉区	126 名	
	令和 6 年 11 月 8 日	登米市米山町	87 名	
	令和 6 年 11 月 29 日	登米市米山町	36 名	
	令和 7 年 2 月 12-14 日	遠田郡美里町	91 名	

（2）地域農場 HACCP 認証支援事業

県内における農場 HACCP 認証に取り組む農場及び認証取得農場が継続的改善を図ることに対し、専門家による構築指導等を行い、地域に農場 HACCP 取組の中核となる農家を育成し、普及推進を図った。

区 分	実 績	備 考
構築指導意見交換	5 戸	肉用牛：1 農場 養 豚：1 農場 養 鶏：3 農場

7 育成馬等予防接種推進事業（中央畜産会：実績額 200,442 円）

競走馬生産の安定維持・発展のため、生産農場の育成馬及び繁殖牝馬について予防接種（馬三種混合及び馬インフルエンザ）を実施し疾病発生予防を図った。

ワクチンの種類	接種戸数	接種頭数
馬三種混合ワクチン（1 歳補強）	2 戸	3 頭（延べ 6 頭）
馬インフルエンザワクチン（繁殖牝馬）	2 戸	4 頭

8 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（中央畜産会：実績額 1,198,563 円）

馬生産地における伝染性疾病の防疫強化を図るため、馬ワクチン接種等地域推進対策検討会を開催し、乗用馬を対象とした馬インフルエンザワクチン接種及び軽種馬等の繁殖牝馬を対象とした馬鼻肺炎ワクチン接種を推進した。

（1）馬防疫強化地域推進対策事業

区 分	開催期日	開催場所	出席人数
地域推進対策会議	令和 6 年 5 月 10 日	仙台市	22 名
	令和 7 年 3 月 7 日		21 名

(2) 馬ワクチン接種推進事業

ワクチンの種類	対象馬	接種戸数	接種頭数
馬インフルエンザワクチン	競走馬以外の乗用馬	6 戸	76 頭(延べ 152 頭)
馬鼻肺炎ワクチン	繁殖牝馬	1 戸	1 頭(延べ 2 頭)

9 家畜防疫互助基金支援事業（中央畜産会：実績額 6,236,539 円）

口蹄疫、豚熱等の特定家畜伝染病が発生した場合に備え、発生農場が経営再開までに必要な経費等を生産者が相互に支援を行うための互助基金制度について普及啓蒙を図ると共に、これらの伝染性疾病の発生防止に向け、関係機関と連携を図り生産者へ飼養衛生管理基準の遵守を促した。

(1) 事業実施期間：令和 6 年度～令和 8 年度（3 年間）

(2) 事務委託先：農協及び酪農団体等 13 団体

(3) 契約状況 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

畜 種	契約戸数	契約頭数	積立金額
乳用牛 ①	2,102 戸	14,331 頭	2,918,220 円
肉用牛 ②		76,091 頭	11,683,445 円
小計 (①+②)		90,422 頭	14,601,665 円
豚	53 戸	176,649 頭	17,672,700 円
合 計	2,155 戸	267,071 頭	32,274,365 円

10 家畜防疫互助基金生産者積立金返戻事業（中央畜産会：実績額 272,866 円）

前期事業対策期間（令和 3 年度～令和 5 年度）事業終了に伴い、牛の生産者積立金 15,539,381 円（乳用牛 18,023 頭、肉用牛 75,518 頭、計 93,541 頭）の返戻業務を行った。

11 家畜防疫互助金交付事業（中央畜産会：実績額 337,139 円）

豚熱発生農場（1 戸）からの申請に基づき、互助金交付認定委員会を開催し、早期の経営再開に向けた互助金 89,925 千円の交付業務を行った。

12 宮城県生乳取扱者研修事業（酪農団体：実績額 993,524 円）

県内における生乳の品質改善と生乳取扱者としての知識の向上や衛生的取扱いを推進するための研修会を開催した。

(1) 認定委員会

学識経験者及び酪農団体長等を認定委員に委嘱し、令和 6 年度事業計画及び宮城県生乳取扱者の認定等について、委員会を開催した。

開催月日	場 所	出席人数	内 容
令和 6 年 9 月 2 日	日立システムズホール仙台	11 名	①新規認定委員の委嘱 ②令和 5 年度実績について ③令和 6 年度計画(案)について
令和 6 年 12 月 16 日	日立システムズホール仙台	8 名	①令和 6 年度生乳取扱者の認定 ②フォローアップ研修会について ③来年度の事業計画について

(2) 認定講習会

生乳取扱者の生乳等に関する知識及び総合的検査技術の向上と県内統一した基準に基づく生乳の検査、衛生的取扱の適正化を推進するため講習会を開催し、受講生 7 名に認定証を交付した。

開催月日	場 所	出席人数	内 容
令和 6 年 11 月 13 日 ～14 日	日立システムズホール仙台	16 名 (受講生 7 名)	①酪農乳業情勢 ②食品衛生法（乳等命令等） ③生乳の理化学的性状 ④生乳の微生物と品質管理 ⑤生乳の検査体制と検査方法

(3) フォローアップ研修会

県内における酪農乳業団体に所属し、受乳、検査、格付け及び乳質改善指導等の業務に従事している職員を対象に、研修会及び意見交換会を実施した。

開催月日	場 所	出席人数	内 容
令和 7 年 1 月 28 日	ホテル白萩	22 名 (受講生 14 名)	①酪農乳業情勢 ②食品衛生法（乳等命令） ③ミルクサイエンスの重要点 と最近の進展 ④牛乳試飲会 ⑤意見交換会

13 宮城県豚熱経口ワクチン協議会業務受託（受託額 622,806 円）

宮城県豚熱経口ワクチン対策協議会が実施する、野生イノシシへの豚熱経口ワクチンの散布・回収事業の会計事務を行った。

14 獣医師養成確保修学資金給付事業（農林水産省・共同負担者：実績額 2,534,991 円）

産業動物獣医師を志す 1 名の学生に対し、修学資金を給付し、有能な産業動物獣医師の養成及び確保を図り、宮城県産業動物の診療体制の整備と畜産振興に寄与した。

給 付 者	給 付 額
酪農学園大学 5 年生	180,000 円/月

15 宮城県牛乳協会業務受託（受託額 3,600,000 円）

学校給食用牛乳の計画的・効率的な供給、牛乳の表示規格制度の適格な実施、牛乳・乳製品の利用拡大等を通じ、消費者に安全安心な牛乳・乳製品を安定的に供給した。

IV 家畜価格安定対策事業

1 肉用子牛生産者補給金制度（農畜産業振興機構）

肉用子牛の価格が低落し、保証基準価格を下回った場合に生産者に対し生産者補給金を交付するため生産者積立金を造成し肉用子牛生産の安定を図った。

（令和 7 年 3 月 31 日現在の契約生産者は 2,462 戸）

（1）生産者積立金の造成（実績額 45,238,000 円）

生産者、宮城県、国の三者が 1：1：2 の割合で生産者補給金の交付に備え、生産者積立金を造成した。

令和 6 年度生産者積立金造成対象期間：令和 6 年 1 月 1 日～令和 6 年 12 月 31 日

品種区分		契 約 頭 数 (頭)	積立金 単 価 (円)	積 立 額 (円)	負 担 区 分 (円)		
					生産者	宮城県	農畜産業振興機構
黒毛和種	1 月 1 日～ 12 月 31 日	17,156	1,600	27,449,600	6,862,400	6,862,400	13,724,800
褐毛和種	1 月 1 日～ 12 月 31 日	38	6,000	228,000	57,000	57,000	114,000
その他の 肉専用種	1 月 1 日～ 12 月 31 日	0	18,800	0	0	0	0
乳用種	1 月 1 日～ 12 月 31 日	773	6,800	5,256,400	1,314,100	1,314,100	2,628,200
交雑種	1 月 1 日～ 12 月 31 日	3,845	3,200	12,304,000	3,076,000	3,076,000	6,152,000
合 計		21,812	—	45,238,000	11,309,500	11,309,500	22,619,000

（2）生産者補給金の交付実績（実績額 551,864,410 円）

令和 6 年度は、黒毛和種、その他の肉専用種において、平均売買価格が保証基準価格を下回ったため発動があった。

保証基準価格・合理化目標価格・平均売買価格（単位：円）

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他 肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格 (※令和 5 年度保証基準価格)		564,000 (556,000)	514,000 (507,000)	328,000 (325,000)	164,000 (164,000)	274,000 (274,000)
合理化目標価格 (※令和 5 年度合理化目標価格)		444,000 (439,000)	404,000 (400,000)	258,000 (256,000)	110,000 (110,000)	216,000 (216,000)
平均売買 価 格	5 年度 第 4 四半期	562,200	585,300	232,100	173,600	347,700
	6 年度 第 1 四半期	541,400	606,100	—	177,500	318,500
	第 2 四半期	498,900	649,800	—	201,700	299,500
	第 3 四半期	521,900	677,100	—	201,300	329,400

補給金の交付実績

交付時期		交付単価	戸 数	頭 数	金 額	備 考
黒毛和種	6 年度					
	第 1 四半期	22,600 円	1,340 戸	4,748 頭	107,304,800 円	
	第 2 四半期	65,100 円	1,192 戸	4,112 頭	267,691,200 円	
	第 3 四半期	42,100 円	1,181 戸	4,199 頭	176,777,900 円	
	計	－	3,713 戸	13,059 頭	551,773,900 円	
その他	5 年度 ※適用 第 4 四半期	90,510 円	1 戸	1 頭	90,510 円	
計		－	3,714 戸	13,060 頭	551,864,410 円	

- 肉用子牛生産者補給金制度適正化事業（農畜産業振興機構：実績額 24,154,630 円）
補給金制度の適正かつ円滑な運営を図るため業務推進会議の開催、事務委託先及び契約生産者に対し調査・指導を実施し、本制度加入の促進及び個体登録業務等の正確かつ迅速化に努めた。また、全国の品種別平均売買価格の算定に資するため、みやぎ総合家畜市場の肉用子牛取引情報を収集し（独）農畜産業振興機構へ毎月報告した。
- 指定協会運営体制支援事業（農畜産業振興機構：実績額 13,560,435 円）
肉用子牛生産者補給金制度を適正かつ円滑に実施するため、指定協会の運営体制の強化を図った。
- 優良和子牛生産推進緊急支援事業（農畜産業振興機構：実績額 387,703,155 円）
肉用子牛（和子牛のみ）の令和 6 年 4 月から令和 7 年 3 月販売分において、四半期毎の東北ブロックの平均売買価格が、発動基準価格を下回ったため取組項目数に応じ奨励金を交付した。

対象品種と発動基準価格

品種区分	発動基準価格 A	発動基準価格 B	発動基準価格 C
黒毛和種	60 万円	58 万円	57 万円
褐毛和種	55 万円	53 万円	52 万円
その他の肉専用種	35 万円	33 万円	－
取組項目数	2	3	4
奨励金単価	1 万円／頭	2 万円／頭	3 万円／頭

奨励金の交付実績（黒毛和種）

交付対象期間	戸数	東北ブロック 平均価格	最高単価	頭数	交付金額
令和 6 年度					
第 1 四半期	1,241 戸	531,601 円	30,000 円	3,590 頭	107,260,000 円
第 2 四半期	1,064 戸	501,095 円	30,000 円	3,006 頭	89,920,000 円
第 3 四半期	1,082 戸	533,659 円	30,000 円	3,261 頭	97,640,000 円
第 4 四半期	1,041 戸	569,606 円	30,000 円	3,023 頭	90,460,000 円
計	4,428 戸	－	－	12,880 頭	385,280,000 円

5 肉用牛肥育経営安定交付金制度（農畜産業振興機構）

肉用牛の枝肉価格が低落し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に差額分の9割を交付するため、生産者積立金を造成し、肥育経営の安定を図った。

令和6年度における品種別交付頭数は、肉専用種 15,168 頭、交雑種 807 頭、乳用種 39 頭、合計 16,014 頭となり、延べ 2,866 戸に対して農畜産業振興機構交付金と肉用牛肥育安定積立金取崩し額を合せて 1,182,529,647 円を交付した。

(1) 推進事務費（実績額 16,911,000 円）

(2) 肉用牛肥育安定積立金の造成（実績額 359,034,000 円）

令和6年度造成対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

品 種 区 分	生産者積立金		
	造成頭数 (頭) ①	単価(円) ②	造成額 (円) ③=①×②
肉専用種	72	14,000	1,008,000
	16,892	19,000	320,948,000
交 雑 種	4	17,000	68,000
	2,770	13,000	36,010,000
乳 用 種	100	10,000	1,000,000
合 計	19,838		359,034,000

(3) 令和6年度肥育牛交付金交付実績総括表

販売月	品種区分	交付対象		肥育牛交付金	
		人数 (人)	頭数 (頭) ①	単価 (円) ②	金額 (円) ③=①×②
令和6年 1月 (精算払)	肉専用種	213	1,107	6,571.5	7,274,668
	交雑種	0	0	0.0	0
	乳用種	1	5	6,683.2	33,416
	計	214	1,112		7,308,084
2月	肉専用種	223	1,116	61,603.2	68,749,085
	交雑種	0	0	0.0	0
	乳用種	1	1	18,615.6	18,615
	計	224	1,117		68,767,700
3月	肉専用種	243	1,191	86,207.4	102,672,905
	交雑種	0	0	0.0	0
	乳用種	1	1	35,480.7	35,480
	計	244	1,192		102,708,385
4月	肉専用種	249	1,409	63,761.4	89,839,697
	交雑種	0	0	0.0	0
	乳用種	1	1	19,021.5	19,021
	計	250	1,410		89,858,718
5月	肉専用種	218	1,047	99,097.2	103,754,686
	交雑種	0	0	0.0	0
	乳用種	0	0	0.0	0
	計	218	1,047		103,754,686

販売月	品種区分	交付対象		肥育牛交付金	
		人数 (人)	頭数 (頭) ①	単価 (円) ②	金額 (円) ÷①×②
6 月	肉専用種	244	1, 212	132, 712. 2	160, 847, 095
	交雑種	12	205	23, 265. 9	4, 769, 502
	乳用種	1	1	41, 036. 4	41, 036
	計	257	1, 418		165, 657, 633
7 月	肉専用種	257	1, 521	97, 799. 4	148, 752, 771
	交雑種	14	159	38, 994. 3	6, 200, 088
	乳用種	1	3	49, 389. 3	148, 167
	計	272	1, 683		155, 101, 026
8 月	肉専用種	218	1, 054	160, 352. 1	169, 011, 054
	交雑種	11	130	3, 827. 7	497, 596
	乳用種	1	6	53, 922. 6	323, 535
	計	230	1, 190		169, 832, 185
9 月	肉専用種	233	1, 251	110, 815. 2	138, 629, 729
	交雑種	10	114	5, 550. 3	632, 729
	乳用種	1	2	52, 113. 6	104, 227
	計	244	1, 367		139, 366, 685
10 月	肉専用種	226	1, 389	106, 251. 3	147, 582, 946
	交雑種	13	199	3, 477. 6	692, 037
	乳用種	1	1	42, 574. 5	42, 574
	計	240	1, 589		148, 317, 557
11 月	肉専用種	261	1, 712	6, 902. 1	11, 816, 309
	交雑種	0	0	0. 0	0
	乳用種	1	6	39, 900. 6	239, 403
	計	262	1, 718		12, 055, 712
12 月	肉専用種	0	0	0. 0	0
	交雑種	0	0	0. 0	0
	乳用種	0	0	0. 0	0
	計	0	0		0
令和 7 年 1 月 (概算払)	肉専用種	210	1, 159	16, 606. 1	19, 246, 413
	交雑種	0	0	0. 0	0
	乳用種	1	12	46, 238. 6	554, 863
	計	211	1, 171		19, 801, 276
合計	肉専用種	2, 795	15, 168		1, 168, 177, 358
	交雑種	60	807		12, 791, 952
	乳用種	11	39		1, 560, 337
	合計	2, 866	16, 014		1, 182, 529, 647

(4) 緊急支援金等返還業務

緊急支援金等交付対象者のうち未返還者3戸に対し返還請求書を発行し、農畜産業振興機構への返還業務を実施した。

①緊急支援金等交付実績

資金名	対象者数(戸)	交付頭数(頭)	交付金額(円)
緊急支援金	501	37,026	1,851,300,000
出荷遅延支援金	315	7,958	5,758,440,000
価格低下支援金	61	510	79,630,000
計	実524(延べ877)	45,494	7,689,370,000

②返還額(生産者からの返還額)

(令和7年3月31日現在)

資金名	返還済額(円)			未返還額(円)
	平成23～令和5年度	令和6年度	計	
緊急支援金	1,851,300,000	0	1,851,300,000	0
出荷遅延支援金	5,748,480,000	830,000	5,749,310,000	9,130,000
価格低下支援金	79,630,000	0	79,630,000	0
預り金	693,101	750,536	1,443,637	△1,443,637
計	7,680,103,101	1,580,536	7,681,683,637	7,686,363
未返還者からの受取利息 (H27年10月から)	3,444,892	20,804	3,465,696	

7 肉豚経営安定交付金制度(生産者委託:実績額 1,052,889円)

肉豚経営安定交付金制度の円滑な推進を図るため、養豚生産者10戸との事務委託契約に基づき、書類申請及び関係書類保管等に関する助言指導等を実施し、養豚経営の安定に資した。

8 肉牛事故共助推進事業(全農宮城県本部:実績額 61,269,128円)

肉用牛生産者並びに出荷者団体からなる積立金を造成し、全農宮城県本部が販売する肉牛に発生する事故に対しその損害を補償し、肉牛経営の安定を図った。

(1) 肉牛事故共助推進事業費(実績額 1,024,735円)

(2) 肉牛事故共助金(実績額 60,244,393円)

品種	頭数	金額
肉専用種	642	59,450,514
交雑種	5	135,535
乳用種	13	658,344
計	660	60,244,393

(3) 肉牛事故共助積立金

(単位：円)

令和5年度繰越額 A	受取積立額 B	受取利息 C	交付額 D	令和6年度積立金残高 A+B+C-D
31,246,323	67,370,002	18,004	60,244,393	38,389,936

V 家畜改良対策事業

1 家畜人工授精用精液流通調整事業（協会独自事業：実績額 181,508,267 円）

本県の家畜改良を円滑に推進し、乳牛及び和牛の生産拡大を図るため、宮城県畜産試験場繋養の種雄牛を主体に、県内7ヶ所のサブセンターにおいて、家畜人工授精師等に対し凍結精液の供給と液体窒素の配送を行うとともに、計画的交配の指導を実施し、家畜の改良増殖の推進と畜産経営の安定と発展に資した。

凍結精液供給本数

和 牛			乳 牛	液体窒素
県有牛	事業団等	計	事業団等	
15,906 本	11,149 本	27,055 本	2,563 本	38,925 kg

2 宮城県総合畜産共進会（協会独自事業：実績額 3,313,538 円）

家畜の改良意欲の高揚と飼養管理技術の向上を図るため、肉用牛・乳用牛及び肉豚の部の共進会を開催した。

区 分	開催年月日	開催場所	出品頭数
肉用牛	令和6年 9月 6日～7日	美 里 町 みやぎ総合家畜市場	62 頭
乳用牛	令和6年 9月 25日	美 里 町 みやぎ総合家畜市場	31 頭
肉 豚	令和6年 10月 23日～25日	登 米 市 宮城県食肉流通公社	111 頭

3 種豚登録関連事業（日本養豚協会：実績額 665,500 円）

近年の養豚生産構造の変化に対処するため、登録関連制度の普及啓蒙と質的向上を図るため登録対象豚の選抜並びに適正な登録事業を推進した。

また、交配品種の多様化に伴う素豚の品質低下を防止するため、一代雑種豚血統証明等を含めた種豚登録事業を推進した。

登記・登録実績

(件)

区 分	種豚登録	子豚登記	一代雑種豚血統証明	各種移動証明	系統種豚証明
実 績	123	220	256	2	0

- 4 乳用種雄牛後代検定事業 （家畜改良事業団：実績額 61,446 円）
 遺伝的に優れた能力を有することが証明された種雄牛（検定済種雄牛）を計画的に作出し、広域的な利用を行う精液の保管と配布を行った。（調整交配配布本数 294 本）
- 5 宮城県ホルスタイン協会業務受託事業（受託額 4,950,000 円）
 乳牛の登録事業、各種証明書の発行を行い、ホルスタイン種牛の優良な血統を保存し、形質の改良と能力の向上を図った。

VI その他

1 専門委員会

家畜衛生事業、和牛改良事業の推進に係る懸案事項について検討するため、各専門委員会を設置し事業の円滑な推進を図った。

2 褒賞の授与

畜産に関する各種共進会、共励会において成績優秀な者に対し褒賞を授与した。

3 畜産普及広報活動

(1) 県内の畜産情報並びに技術の普及拡大を図るため、「畜産みやぎ」を年 6 回発行した。

(2) 月刊「畜産コンサルタント」誌並びに指導資料を配布し、畜産技術の普及啓蒙を図った。

4 令和 6 年度役職員の異動状況

(1) 役員の状況

区 分	令和 6 年度当初	辞任	退任	就任	令和 7 年度当初
理 事	1 3	4	0	4	1 3
監 事	3	1	0	1	3
計	1 6	5	0	5	1 6

辞任理事： 齋藤 裕・大友 正・工藤 義也・高澤 和寿

就任理事： 高澤 和寿・井出 総一郎・石川 信喜・小松 孝一

辞任監事： 横山 亮一

就任監事： 菅原 悟

(2) 職員の状況

区 分	令和 6 年度当初	令和 7 年度当初	増 減 (△)
正 職 員	1 3	1 4	1
再 雇 用 者	7	6	△ 1
嘱 託 職 員	2	2	0
臨 時 職 員	8	7	△ 1
指導相談員	1	0	△ 1
計	3 1	2 9	△ 2

5 会 員 名 簿

(令和7年4月現在)

会 員 名		会 員 名	
1	宮城県	31	山 元 町
2	宮城県農業協同組合中央会	32	松 島 町
3	全国農業協同組合連合会宮城県本部	33	利 府 町
4	宮城県農業共済組合	34	大 和 町
5	みやぎの酪農農業協同組合	35	大 郷 町
6	(公社)みやぎ農業振興公社	36	大 衡 村
7	(一社)宮城県配合飼料価格安定基金協会	37	加 美 町
8	(公社)宮城県獣医師会	38	色 麻 町
9	宮城県牛乳協会	39	涌 谷 町
10	宮城県家畜商協同組合	40	美 里 町
11	仙 台 市	41	南 三 陸 町
12	白 石 市	42	みやぎ仙南農業協同組合
13	角 田 市	43	仙台農業協同組合
14	岩 沼 市	44	古川農業協同組合
15	名 取 市	45	加美よつば農業協同組合
16	大 崎 市	46	新みやぎ農業協同組合
17	栗 原 市	47	みやぎ登米農業協同組合
18	登 米 市	48	いしのまき農業協同組合
19	気 仙 沼 市	49	宮城県酪農農業協同組合
20	石 巻 市	50	(公社) 全国和牛登録協会宮城県支部
21	東 松 島 市	51	宮城県家畜人工授精師協会
22	富 谷 市	52	宮城県ホルスタイン協会
23	蔵 王 町	53	(株)宮城県食肉流通公社
24	七 ヶ 宿 町	54	仙台中央食肉卸売市場(株)
25	大 河 原 町	55	プライフーズ(株)宮城農場
26	村 田 町	56	(株)シムコ岩出山事業所
27	柴 田 町	57	(株)高清水養豚
28	川 崎 町	58	(株)サイボクファーム
29	丸 森 町	59	(株)しわひめスワイン
30	亘 理 町	60	(株)栗原農場